

## 情報と外交、軍と開発

黒田インターナショナルファンデーション

黒田 毅

情報収集は、唯一その分析において国家運営を可能とする。これらは収集と分析における国家運営と指針の決定が可能なのである。

この観点から、情報は唯一国家を与えることを知るべきである。アメリカにおける CIA と政治組織、イギリス連邦における現実、イスラエルにおける情報収集と分析、これら基準における国家構築は、唯一世界の現実への参加を与える。

世界における留意することは、軍における先端性と技術、宇宙開発における現実、学術の進歩性と現実との相関性、政治組織と正しい現実の分析、産業における資本形成とその技術などは、今後変化への参加への正しい判断と考える。

軍の展開とその連携は、世界におけるそのプレゼンス形成を有する。外交は、現実の維持形成を与えるため正しい判断である。

これらは正しい理解であり、自国運営と基盤環境を整備するための基準であり、正しい小塚運営は必ず世界との対等性を求めなくてはならない。

外交における連携は、西洋と自由陣営を参考に、その貿易、情報協定、軍事協定を自己グループの形成において実現する。

自由陣営は、正義と理念を有するため、これらとの対等な関係は相互利益という合意において、それら自己進歩性を人道主義において、その関係構築を実現する。